

様式第11号 (第9条関係)

## 実績報告書

平成<sup>18</sup>年<sup>7</sup>月<sup>22</sup>日

市川市長

特定非営利活動法人

団体名 **キルト・ビ**  
代表者名 理事長 **金 孝 男**  
所在地 **千葉県**



電話 〒272-0825 千葉県市川市須和田1-11-2  
TEL/FAX 047-371-1511

平成<sup>18</sup>年<sup>7</sup>月<sup>22</sup>日付け 市川第~~20060630~~<sup>20060630-017</sup>号をもって交付決定のあった市川市市民活動団体支援金に係る実績報告について、市川市納税者等が選択する市民活動団体への支援に関する条例第15条第1項の規定により、提出します。

### 記

1. 事業費総額 516,489 円

2. 交付決定額 141,417 円

### 3. 添付書類

- (1) 支援決定事業収支決算書 (様式第12号)
- (2) その他市長が必要と認める書類



[事業報告書] v

事業の名称	障害者のための就労を可能にする支援事業
事業の実施時期 実施場所・内容	<p>●平成18年4月～平成18年12月 (18年8月開設のパソコン科の教材用パソコン3台設置)</p> <p>●市川市須和田1-11-2 キルト・ビー 研修室 (パソコン技能の学習及び体験教室の実施)</p>
事業の成果	<p>市民活動団体支援制度に参加したこと、また、事業を実施したことによってどんなメリットがあったか、或いは、地域がどう変わったかなど、得られた成果を具体的に記入してください。</p> <p>●障害者の自立就労支援のパソコン科を新規事業として確立したことにより、次の事業展開へと継げることが可能となった。</p> <p>●結果、千葉県立障害者高等技術専門校のパソコン科事業受託が出来て、訓練生2名をパソコン技術習得させる事により2名とも就職が出来た。</p> <p>●設備機材の有効活用として『パソコンお助け教室』を地域社会と協働を目的として11月に開設し、近隣の主婦をはじめ高齢者と多数の人にパソコン操作のチョットしたつまずきの解決等、スキルアップに役立つことが出来ている。</p> <p>●作業実践コース・パソコン技能習得コースの講師陣は、団塊世代者が自分の持っている能力を生かすことにより、社会に貢献する機会を得て積極的に協力して頂いている。</p>
課題（今後の方向）	<p>事業を実施したことによって、どんな課題を把握したか、また、課題を解決するための方向性について記入してください。</p> <p>●この支援制度に参加することで、多くの人との連携する機会を得て地域活性の一助として輪が広がりつつ有ります。</p>

様式第12号(第9条関係)

## 支援決定事業収支決算書

事業の名称：障害者のための就労を可能にする支援事業

### 1. 【収 入】

(単位：円)

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	299,023	就労支援PC支給金 (千葉県高等技専から2名分)
補助金	141,417	市川市市民活動団体支援金
授業料	40,500	お助けコース(7名)
教科書販売	35,549	受講生購入分
合計	516,489.	

### 2. 【支 出】

(単位：円)

項目	金額	説明(積算等)
事業用部品費	279,165	PC機器3台
工事費	27,000	障害者用トイレドア修理
消耗品	18,429	PC機器用コンセント・コード・机・インクソフト
教材費(PC科)	52,395	テキスト・検定問題集
活動交通費	139,500	講師等活動交通費補助
合計	516,489	

※ 領収書(原本)を添付してください。

※ 原本を手元に保存したい時は、コピーでも構いませんが、原本確認が必要になります。  
(領収書は、会場使用料、講師謝金、印刷製本費、通信費、事務消耗品費、設営費などの  
費目ごとに日付順にまとめてください。別紙の要領で領収書を添付して下さい。)